

市政に関する意識調査結果活用状況

(令和3年6月末時点)

テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
	これまでの活用状況	今後の活用予定
<p>テーマ:福岡市の住みやすさ 担当課:市長室広聴課</p>	<p>住みやすさの調査結果については広報媒体等におけるプロモーション等に活用している。 パンフレット「ふくおかボイス」、調査結果報告書、新聞などの各種媒体を通じて、結果の公表と周知を行っている。 都市環境等に関する満足度のうち、「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」「就業機会の多さ」「福祉の充実」「犯罪の少なさ」「市民のマナー」については、第9次福岡市基本計画において施策の達成状況を把握していくための「成果指標」として使用している。</p>	<p>住みやすさや都市環境等に関する満足度は、現在の福岡市政の運営状況を評価する基準のひとつであるため、引き続き調査を実施し、年次比較などを行いながら、現状把握を行っていく。</p>
<p>テーマ:福岡市の農林水産業 (令和2年度調査テーマ) 担当課:農林水産局政策企画課</p>	<p>福岡市の農林水産業に関する調査結果については、令和4年度からの次期農林業・水産業総合計画の策定における基礎資料とするとともに、計画の数値目標としている。 また、農林水産業の振興施策の検討に活用している。</p>	<p>引き続き、農林水産業の振興施策の検討に活用する。</p>
<p>テーマ:障がい者を理由とする差別の解消 (令和2年度調査テーマ) 担当課:保健福祉局障がい者支援課</p>	<p>平成31年1月1日に施行した「福岡市障がい者差別解消条例」や条例の考え方の認知度などを把握し、今後の障がい者を理由とする差別の解消の推進に向けた取組みの参考とするため、アンケート調査を行った。 調査結果については、市長の附属機関である「福岡市障がい者差別解消推進会議」の委員にも配付しており、今後の障がい者を理由とする差別の解消に資する取組みを検討する際の参考としていく。</p>	<p>今後とも調査結果を活用しながら、条例の考え方の周知を図るなど、障がい者を理由とする差別の解消の推進に向けた施策を検討し、障がいの有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重しながら共に生きる社会の実現のため取り組んでいく。</p>